



きずな

5部Nブロック

5部リーグNブロックは、大麻ジュニア、AGGRE B、札幌ジュニアホワイト、東橋、アスクラロST、北野ステラポラーレ、SC札幌、厚別北の8チームで戦いました。各チームともチームカラーをだし毎試合白熱したリーグ戦となりました。試合もSSAPや東雁来サッカー場の開催日以外の日程も会場を2会場にし、選手への負担を減らし行いました。



優勝は札幌ジュニアホワイト。12勝1敗1分、総得点74点の失点が9と素晴らしい成績での優勝でした。選手1人1人の技術が高く、判断の中で良いプレーを選択しプレーしている姿が印象的で、個人、チームともにレベルの高いサッカーを見せてくれました。惜しくも準優勝となった北野ステラポラーレは、長身のFWを中心に、得点を重ね、試合中の声掛けやチームの雰囲気明るくチームワークが素晴らしいチームでした。

リーグ全体としては優勝、準優勝、そして惜しくも3位だったAGGRE Bの上位3チームは最終日まで優勝がわからない接戦で最終節は白熱した展開となりました。4位以下のチームも節ごとに成長している姿、チームで目標を立て戦う姿など毎試合一生懸命に試合をし、素晴らしいリーグになったと思います。

リーグ戦は、当初の予定から変更になることもありましたが各チームの協力のもと上記にもある通り全日程を2会場にし、選手や保護者の負担を軽減することができ2会場の協力や各チームの力添えで問題なく全日程を終えることができました。この場を借りてリーグに関わった皆様にお礼申し上げます。



1部Bブロック

1部Bブロックは、石狩FCレッド、FC DENOVA、アプリーレ札幌、スポルティングLIV FOOTBALL CLUB、北海道コンサドーレ札幌BLACK、SSS札幌、アスルクラロ札幌の8チームで行いました。各チーム特色を活かしたサッカーで札幌のトップリーグにふさわしい熱戦が繰り広げられ、半年間で選手の成長が多く見受けられたリーグ戦でした。

優勝はSSS札幌。

チーム全体として前への意識が非常に高く、SSS札幌らしい個人の突破力を活かした攻撃に加え、後方からボールホルダーを追い越すなど全員が関わりながら多くのチャンスを作っていたのが印象的でした。一人ひとりの能力が非常に高く、リーグ2位の53得点はもちろん、大型GKを中心とした堅い守りで失点はリーグトップの5点と、攻守に隙のないチームで12勝2分の無敗、勝点38で堂々の優勝でした。



惜しくも準優勝となったのは北海道コンサドーレ札幌BLACK。リーグ戦の序盤は波に乗り切れていない印象でしたが、後半になるにつれて主導権を握る試合が多くなり、安定した試合運びで勝ち点を積み上げていきました。11勝1分2敗の勝点34の成績で、得点数はリーグトップの74点。大差で勝つ試合も多くあり、得点者に偏りがなくどこからでも得点が取れるチーム力が上位進出の原動力だったと思います。

最終結果はSSS札幌の優勝でしたが、3位4位や5位6位など隣り合う順位が最終日までわからないなど、白熱したリーグ戦を年間通して行うことができました。

また今年から試合時間が40分となったことでチームの総合力が試されることになり、ベンチの起用法など、様々なところに変化があったように思いました。

運営面に関しては、SSSさんのご協力によりSSSホームグラウンドをメイン会場として全試合人工芝で行うことができました。2面での同時開催だったため拘束時間の短縮など、選手達には良い試合環境でサッカーをさせてあげられたと思います。

会場準備も全チームで協力し、スムーズに試合が始められ、会場使用や駐車台数等でのトラブルもなく、円滑にリーグ戦を運営することができました。

リーグの運営にあたり、参加チームの指導者・保護者の皆様のご協力により、円滑に進みましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。